

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

加茂名小学校
「学力向上実行プラン」

- 基礎・基本を身に付け、自己実現をめざす子どもの育成
- 主体的に取り組み、豊かに表現する子どもの育成

学力向上推進員	委員 校長:奥村兆男 教頭:仁木茂雄 教務主任:丸岡敬明 1年主任:富田志帆 2年主任:秋田真理 3年主任:川崎亮 4年主任:山本幸穂 5年主任:後藤浩之 6年主任:藤井由紀 特別支援学級主任:紡車多希子 研修主任:田村 理恵 人権教育主事:後藤浩之
大宮 佳世子	

校長
奥村 兆男

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

(1)知識・技能の習得

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○朝の活動を学力向上のために活用し、漢字、計算等の基礎的な知識・技能の習得率は向上してきている。 ●学習したことを日常生活の中で活用できていないため、既習事項を時間が経つと忘れてしまい、定着が不十分である。	・漢字、計算等の基礎的な知識・技能の学年目標習得率を向上することができる。 ・既習事項や問題解決の過程で習得した語彙や表現方法を用いて、自分の考えや思いを表現することができる。 ・進んで読書をし、語彙力をつける。	・漢字や計算の確認テストを定期的に取り実施したり、タブレットのミライシードを活用して反復練習や遊り学習を行ったりする。また、認知トレーニングを取り入れ、学習の地づくりを行う。 ・朝活の読書タイムを利用して、学級ごとの図書室利用を呼びかけることで家庭での週末読書を推進し、読書の習慣化を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペアやグループなど多様な学習形態での伝え合い活動を通して、自分の考えを伝えようとする意識が育ってきている。 ●必要な情報を選んだり、友達の意見と自分の意見を比較検討したりして、自分の考えを再構築させるまでには育っていない。	・内容を整理しながら文章を読んだり話を聞いたりして、感想や自分の考えをもつことができる。 ・必要な情報を選んだり、友達の考えを聞いたりして、自分の考えを広げたり比べてたりして自分なりに表現することができる。	・メモや付箋、ホワイトボードを活用し、自分の考えたことを書きとめられるようにする。 ・ペアやグループなど多様な学習形態やタブレットを活用した学習活動を取り入れることで、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。 ・学習の振り返りをノートに書く時間を確保する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○提示された課題には真面目に取り組むことができる。また、興味をもつ課題に対して、主体的に取り組む児童が増えてきた。 ●個人差が大きく、手助けが必要な児童が多い。また、自分で計画を立てて課題を解決する力が不十分である。	・新しいことに興味をもったり、自分の課題を見つけたりして、主体的に学習に取り組むことができる。 ・自主学習の内容を自分で決めて、主体的に取り組むことができる。	・子どもたちが楽しみながら学習できる授業の研究・実践に取り組む。 ・ヒントカードを活用することで、自ら学習に取り組むことができるようにする。 ・自主学習の取り組み方を例示することで、主体的に学習に取り組むことができるようにする。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

